

感染症に注意しましょう

～備えあれば楽しい海外旅行～



海外では、日本で発生していない感染症が多くあります。

これからの観光シーズンに海外に出かける人は、楽しい海外旅行となるように、出発前に渡航国の感染症情報をしっかり調べて、適切な感染予防を心がけましょう。

特に注意が必要な感染症予防について紹介します。

●麻しん(はしか)～帰国後の発症者の報告が増えています!～

- バリエーションを含むアジアの多くの国は、はしかの流行国です。
- 現在日本でののはしかの発生はなく、海外で感染した人が帰国後発症しています。
- 感染すると、肺炎や中耳炎を合併しやすく、脳炎が発症することもあります。
- 麻しんウイルスは非常に感染力が強く、空気感染もします。予防接種が最も有効な予防法です。
- 予防接種を受けたことのない人、1回しか接種していない人は、海外渡航前に予防接種を受けましょう。
- 帰国後、はしか症状(発熱、せき、目の充血、発しん等)が認められたら、公共交通機関や人が集まるところを避け、事前に連絡の上、医療機関を受診してください。



海外渡航のための予防接種のお問い合わせ先

- 奈良県立医科大学附属病院感染制御内科海外渡航者外来
0744-22-3051(代)
- 奈良西部病院トラベルクリニック
0742-51-8700(代)

●マーズ(MERS:中東呼吸器症候群)～「ラクダ」にはご注意ください!～

中東地域はMERSの流行国であり、感染源は現地にいるヒトコブラクダです。

- 感染すると重い肺炎などの呼吸器症状を引き起こし、死亡に至ることもあります。
- 特別な治療方法やワクチンはありません。
- 中東でラクダに乗る、肉を食べる、乳を飲む等の行為は危険です!
- 中東諸国で上記のようにラクダに接触した人は、発症していなくても帰国時に検疫所で申告が必要です!
(14日間、検疫所の健康監視下に置かれる場合があります)

ホテルの
中庭にもいます



中東ではラクダに近づかない!



渡航前に必ずチェック!

- 厚生労働省検疫所HP <http://www.forth.go.jp/>
- 外務省 海外安全HP <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

お問い合わせ先: 奈良県保健予防課 0742-27-8612